

大会派遣・研修報告書	
1. 大会・研修会名	令和元年度 九州中学校体育大会 第 49 回 九州中学校バスケットボール競技大会
2. 研修期間	令和元年 8 月 4 日(日)～6 日(火)
3. 派遣者	福岡 敏徳 / 森田 将史 / 松永雄平 / 久原 裕未
4. 日程	4 日(日) 審判会議 5 日(月) 男女 1・2 回戦 6 日(火) 男女準決勝・3 位決定戦・決勝
5. 研修概要	5 日 (月) 福岡：男子 2 回戦【玉城(沖縄)-中村学園三陽(福岡)】 森田：男子 1 回戦【西福岡(福岡)-緑丘(鹿児島)】 男子 2 回戦【五十市(宮崎)-鹿南(熊本)】 松永：男子 1 回戦【玉城(沖縄)-尚学館(宮崎)】 男子 1 回戦【松島(沖縄)-鹿南(熊本)】 久原：女子 1 回戦【大分(大分)-コザ(沖縄)】 6 日 (火) 福岡：女子決勝【れいめい(鹿児島)-二島(福岡)】 森田：男子 3 位決定戦【西山(熊本)-鹿南(熊本)】 松永：女子 3 位決定戦【三股(宮崎)-昭栄(佐賀)】 久原：女子準決勝【昭栄(佐賀)-二島(福岡)】
6. 研修内容	<p>【審判会議】</p> <p>1) Respect for the Game / Players Fast ・真摯にレフリングする姿勢を</p> <p>2) コミュニケーション ・コーチや選手、T・O とコミュニケーションを →伝える時は Short & Clear に。</p> <p>3) 処理ミス 0 ・クロックや TO の管理 ・3 or 2 →クルー同士で 3p か 2p か分かれた場合、得点板に何点カウントされたか把握しておく。次にボールがデッドになった時にクルーで寄って確認。プライマリーレフリーがシグナルを出し、正しい得点を入れる。 ※事前に TO と打ち合わせをしておき、万が一分かれた場合はどうするかを伝えておくのも一つの手段である。 ・EOQ や EOG 時の得点やクロックの確認については、より入念に PGC で確認しておく。等</p> <p>4) その他 ・ボールの取り扱い →ボールが持ち寄りの場合、平等性を持たせることが大事。 ・インティグリティに関する報告 (JBA インティグリティ資料の確認を) ・選手変更やソックスの色に対するアピールがあった場合の対応法</p>
7. 所感	<p>審判会議では、3 or 2 が分かれた時などの処置法を、ディスクッション形式で確認した。トラブルが起きた場合に、より適切な対応法は何か、事前に一つでも多く準備しておくことが必要だと強く感じた。そのためにも、ルール正しい理解が求められる。また、自分の失敗したケース、その解決策などをノートにまとめ、それを蓄積していくことで引き出しを増やしたい。コミュニケーションの取り方も、表情、話し方、シグナルなど、相手だけでなく、会場全体に見られているという意識を持って伝えていくことの大切さを学ぶことができた。苦手な部分なので、特に強化していく必要がある。</p> <p>アングルの取り方や基本的な位置どり、判定力、走り方や立ち方などのプレゼンを見直し、少しでも改善できるように努めたいと思います。派遣していただき、ありがとうございました。 (報告者：久原)</p>